

刊夕日二月三



定額一圓五角 月金五拾圓 郵費五圓
廣告刊五號十二字詰一行金五拾圓
日曜祭日の翌日依り
發行所 常磐毎日新聞社 青森市
電話 六三〇
支店 青森 弘前 八戸 三戸 五戸 十戸 十和田 大館 秋田 山形 仙台 盛岡 岩手 宮城 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 愛知 三重 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 徳島 香川 高松 岡山 広島 山口 徳島 香川 高松 岡山 広島 山口

聖観音の威神力 (二)

眞 繼 雲 山

以上の物語りにおいて宮成は貧乏くじを引いてゐるが、しかしこの悪黨の宮成がなれば、この物語りは成立しない。従つて聖観音の威神力も現はれず、四民の歸仰もなく、靈場としての御選も無かつた筈である。

善人であり、完成人であるならば宗教の生命であるとするれば、この一篇の主人公は悪人宮成であつて、善人感世は脇士であり従伴役である。悪人宮成が佛に救はれるところに、靈場成立の生命がある。同時にそれは煩惱のかたまりであるべき一切の人間のために切り開かれた道である。親鸞聖人が悪人なほもて往生す如何に況んや善人をやと仰せられた悪人正機の教へは、正しくこの穴太寺の縁起において如實に構成されてゐる。

悪人宮成ゆゑにれい場が成立し、後の人々が救はれてゐるとすれば、その宮成こそは聖観音が世間苦救済の智方便として迷妄の凡夫の前に示されたものであつたとも考へられる。三十三

身一切の示現はことごとくこれ聖観音の方便化身である。

人間は本来、善人と悪人といふ二つの種類があるのではない、信の蔽はれたものが悪であり、信の現はれたものが善である。一切の絶対善化を成佛といふのであるから、罪惡の凡夫こそは成佛の種であり、救済の對機(正客)である。罪惡が無ければ成佛といふことはなく、凡夫が無ければ佛の救済は成立せぬ迷ひがないならば悟りといふことは無い譯である。

固より悪人を禮賛し、惡を惡のまゝでよいと肯定する意味はなく、たゞあくがそのまゝ善に遷る、萬物が本來の姿のまゝで成佛するところに救済があり宗教があるのである。

宗教大學から聖者を養成するのが救済ではなくして監獄の正門から吐き出される免因の涙に佛の慈悲は輝くのである、あくの木株を伐り捨て、別に新たに善の木を植えるといふことであるなら、永久にあく株の救はれ育つ時はない、救はれ

ねばならぬ弱者の救はるゝ道が宗教であり佛の威力大悲である。



山をおもふ

木津茂太郎

山を愛するよわたしはあの空を區切つておほらかに伸びた美しい幻想のやうな山を山を歩く

寂しいかつこの聲がどうかすると聞えるしづかなそして明るい山を

とほい思ひ出が白雲となつてひろがつてゐる私は草原に腰を下して山の深い陰影を眺めてゐる

お々山をこの窓に私は山を思ふのである

時計眼鏡

トキワヤ 平一・電三三九

急 告

博覽會場内飲食店募集

- 第一會場内 二ヶ所
 - 第二會場内 四ヶ所
 - 第三會場内 三ヶ所
- 賣店敷地料壹坪二付金拾圓也
右希望者は二月末日マデ申込相成度但シ申込満員ノ際ハ即時ベ切可申候

昭和産業博覽會 第一會場内事務所

貸切は●●●

セダン揃ひで貸切専門の昭和タクシーへ

電話三四三三

歯科

平町鍛冶町吉田屋吳服店西隣り

口腔外科 齒槽膿漏科
治療科 補綴科 齒列矯正科

◇受付は午前八時より午後八時まで
但し急患者は此の限りにあらず

東京齒科醫學士 中村文一

中村齒科醫院

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

福島縣平町五ノ廿八
志賀齒科醫院

器灸温ムウチラ

特卸 治療部 産婆 關口 悦子

福島縣平町白銀町九

表價定

- 金拾參圓 藥及特效サグ五週間分付
- 金拾圓 藥及特效サグ五週間分付
- 金拾圓 藥及特效サグ五週間分付

配達敏速

産名城磐

らか鹽と節鯨

店理代平命生本日大最優最
榮盛賀志
番一二三電 目丁四平

生徒募集

- 一、卒業年限 兩科通ジテ一ケ年
 - 一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等ノ學力アル者へ無試験入學ヲ許ス
 - 一、申込期日 四月八日迄
- 平一丁目

石城産婆學校

校長 鷹崎 千代

電話三五七番

産業組合員

一千名參集

縣下大會を

平町に開催

既報縣下産業組合大會が四月十七日平町第三小學校に開催される事となつたので

濱三郡産業組合役員會は二十九日午前十時から平町事務所に開催縣から小松主事等臨席これが準備に就き協議の結果組合員約一千名參集するので此の費用一千圓を石城郡五百八十圓を双葉郡百二十圓相馬郡三百圓宛負擔する事となり本月末から準備に着手する事となつた

視初巡

内務部長 六日來郡

新任の赤土本縣内務部長の

昨日執行された 海軍志願兵試験

平町の合格者は四名

既報海軍志願兵の試験は昨日より横須賀鎮守府徵募官本田源三中佐試験官として平第三小學校に於て執行中であるが昨日執行された百十三名の受験者中合格者十六名と決定されたが町村別の合格者数は次の如くである

- (上遠野)一名(田人)一名
- (入遠野)二名(平町)四名
- (貝泊)一名(江名)一名
- (錦)一名(山田)一名(植田)二名(赤井)二名

尚平町の合格者は左記の如くである
佐藤祐吉、渡邊弘美、船生勉、田村正二

濱通り地方初巡視は三日より相馬郡を振出しに行はれる筈で石城郡は六日正午頃より巡視を行ふ豫定である

石城の農馬 石城馬千頭を標準 農馬として優秀であり郡組合では生産増殖に極力努めてをり七年度においては千頭生産を目標として進んでゐるが今回の滿洲事變、上海事變等で軍馬として使用する農馬の需要があるものと見て農家一般が農馬の生産に漸く目ざめた傾向があるので郡組合ではこの機を逸せず目標實現に努めて居る

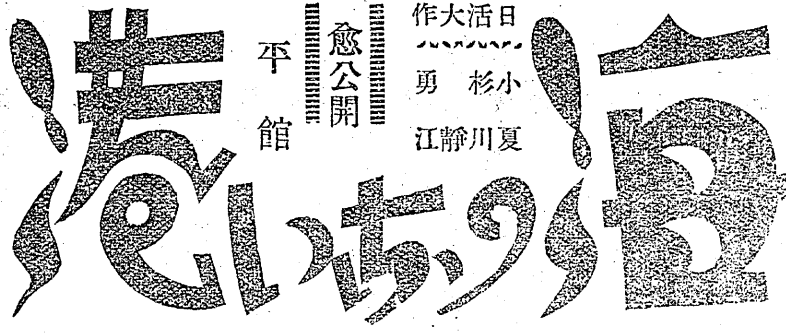
實業補習認可 平町 播穂小路二〇酒井ミヨ女史の經營にかゝる平陽女學校は實業補習學校令による私立實業補習學校の設立を一日付縣より認可された

大浦共同販米 石城 販賣利用組合の大浦農業倉庫では昨日産米の共同販賣を行ひ四等百廿七俵五等九十四俵等外七十俵計二百六十一俵を入札せる結果四等價値八圓七十六錢五等八圓五十六錢等外八圓三十六錢を以つて全部四倉町の根本金七氏に落札した

二部 志願 全部不合格

女子師範入學試験

福島市女子師範學校の入學試験の結果郡下よりの志願者中合格許可された者は一部志願の左記二名で二部志願は全部不合格であつた (神谷村)鈴木君子(夏井村)木田静意



平館

平町人事

- △結婚 回 姻
- △東京府下南足立郡千住町 東町佐藤正氏(二一)平町北目町六六箱崎花子(二三)
- △死亡 回 亡
- △長橋町一七當時石城郡好間村字上野原今宮喜八(八二)

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

高橋時計店 (計) (時) (鏡) (眼) 精幸堂 平町才小路

募 三勇士 遺族の 申慰金

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も爲めに慟哭せむ。實に振古未會有驚天動地の偉業にして人生を超越し洋の東西に冠絶す。古今英雄多しと雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の心情英雄以上の英雄なり。今や同胞國を擧げて戦に赴かんとす誰か彼の三勇士に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕し東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士氣を鼓舞し外は國軍の威武を宣揚する誠三勇士に負ふ處甚だ大なるを痛感するなり。名將曰く『吾が皇國も三勇士ありて亡びず』と眞に至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり。然り彼等三勇士こそ日本軍人の範にして大和民族發展の尊き犠牲者なり。吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を饒げ以て聊か勇士の靈を慰んとす。愛國の士奮つて賛せられんことを

主唱 阿部政右衛門 後援 常磐毎日新聞社

寄附者芳名 第二回分

- 原 富 次 新田目善次郎
- 北野 清之助 松野屋繁藏
- 根本 貢 山野邊義政
- 海老原 幸次郎 瀬尾善之進
- 廣澤 富三郎 鷲谷三郎
- 横山 清助 門傳清吾
- 西川 末吉 同 同
- 三上 省三 同 同
- 鈴木 多利吉 木下正
- 吉井 要人 小久藏
- 菱沼 倉次郎 大形茂治
- 吉田 廣三郎 銀熊次

事態の重大化を慮り

一大決意を要す

陸軍當局の聲明書が

本日平町役場に到着

上海事件の真相

陸軍當局では目下銃火を交へつゝある上海事件に就いて其の内容を此際充分國民に徹底せしめんと左記の如き聲明書を本日平町役場へ送付して来たので同役場にては直ちに是れが衆知方を圖り真相を明らかにせしむべく努むる由

適宜必要な措置をとり善處せん事を期し有りしが如くなれども勢の趣く處事態の重大化する事を慮り國民に一大決意を覺悟するの要あり

米價又騰る

急速にたい頭す

一時は一俵十圓近くにまで暴騰した石城地方の産米は去月中旬頃より下落をたどり下旬頃には九圓を割るに至つたのでこの分では再び七圓臺になるものと観測されてゐたが總選舉の結果全く政友會の天下となるや米價は急速に擡頭し昨今はまた九圓を突破して九圓二三十錢で盛んに取引されてゐるこれが縣小賣相場も先高を見越されて一日から一キロ一錢宛の値上げを見たらが當分の間下落は望めない模様である

に支拂ふべき石炭代五百七十圓を横領し同人の情婦山形縣東置賜郡風持村生れ山崎コト(三)を連れ行衛を晦して了つたので主人方より

模範道路工夫

知事の表彰傳達

既報去月十一日付を以つて村井本縣知事より模範道路工夫として表彰された平土木監督所の道路工夫三瓶豊村(三)氏に對し去廿九日小林所長より傳達式を行つたが尙所内全工夫に對し小林所長より一場の訓示があつた由

一日午前九時から同演武場で開き聯合檢閲並に消防諸般事項につき協議する管である

情婦を連れて

行衛を晦ます

△帝國は支那の自覺覺醒に依り内争を放棄し清淨なる關係に復せん事を念願とするも事態の推移に依りては帝國國民保護の爲

安達郡保原町本町石炭店山本商店外務員比佐治郎(三)は廿七日主人の代理として石城郡湯本町入山炭礦會社

炭長屋に

不穩

文書飛ぶ

二三日前から引續き常磐各炭礦長家に謄寫版刷りの不穩文書が盛んに撒布或は貼られてあるので平署では特高刑事が血眼となつて犯人檢査に努力してゐるが大体目星が附いたらしく一日は某方面に向つて一齊檢査の手をのばした

藏物を買取り

目下取調中

平町材木町古物商山藤吉藏(五)は去月中石城郡内郷村宇小島の佐藤政男(三)藤山千秋(三)川瀬徳太郎(三)の三名が平町各地で窃盜を働きたり三名が去月十七日新田町藝妓屋大久保方の銅製雨樋二間半時價五圓餘を盗み夜の十二時頃前記古物商山藤方に交渉したので情を知つた同人は卅錢にて求めた外數回三名の不良兒より買取つて居た事發覺藏物故賣の罪で目下平署に取調中である

青訓の入所生

本年は多いか

本年度に於ける平青年訓練所生の入所診當者は町役場にて調査中の處總員二百七十名と決定したが其内譯は本籍者八十八名、寄留者百八十二名にて滿洲事變上海事變等の影響を受け入所生多かるべき見込である

卓球

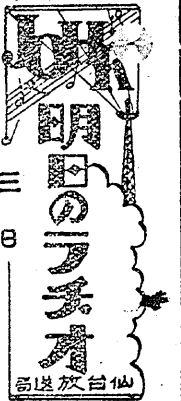
十三日に試合

田町大塚運道具店では十三日正午より第三回の郡下卓球大會を常磐銀行樓上に開くが同會の出場資格者は郡下居住卅歳以上の者で希望者は大會當日迄に同店へ申込まれたいと

平職業紹介所報告

求人部

- △雑夫 四十才 高卒 給料面談(安達郡某)
- △洋服工見習 廿二才 尋卒 給料面談(湯本町某)
- △集金係 四十一才 高卒 給料面談(平町某)
- △指物工 十八才 高卒 給料面談(平町某)
- △事務員 廿四才 平商業 卒業 給料面談(平町某)



明日のラジオ

今夜は南風の曇明日は北西の風に變り晴

今晚の部

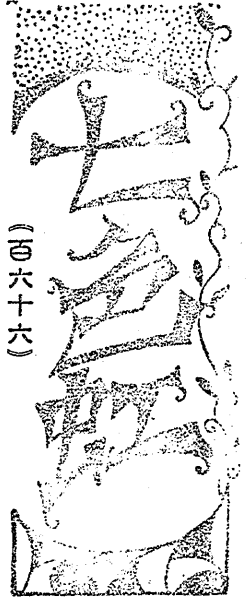
- 後六、〇〇(子供の時間) お話「やさしい折紙」中澤種二
- 後七、三〇 講演「滿蒙と農業移民」京大教授農學博士橋本傳左衛門
- 後八、〇〇 ラヂオ風景「珍妙座談會」柳永二郎外
- 後九、三〇(奉天より)

明日の部

- 後九、四〇 全國ニュース 氣象通報 番組豫告
- 前九、四〇 料理献立「雛節句料理三日目」朴澤松操學校
- 前一〇、三〇 家庭講座「お雛様の俳句」萩山梓月
- 後一〇、〇五 ラヂオレヴエ
- 後二、〇〇 家庭大學講座

「心得置くべき醫學の知識」醫學博士 平松鶴吉
後五、三五 エニスベラント 講座「世界に於けるエニスベラントの現狀」中村貴義
後六、〇〇(子供の時間) 童話劇「お人形の退院」金の鈴 兒童樂劇團
後七、三〇 時事講座「滿蒙し鑛物資源」前滿鐵地質調査所長理學博士村上飯藏
後八、〇〇 常磐津「初戀千種濡事」常磐津和佐太夫外
後八、四〇 箏曲
後九、三〇(奉天より)

小説

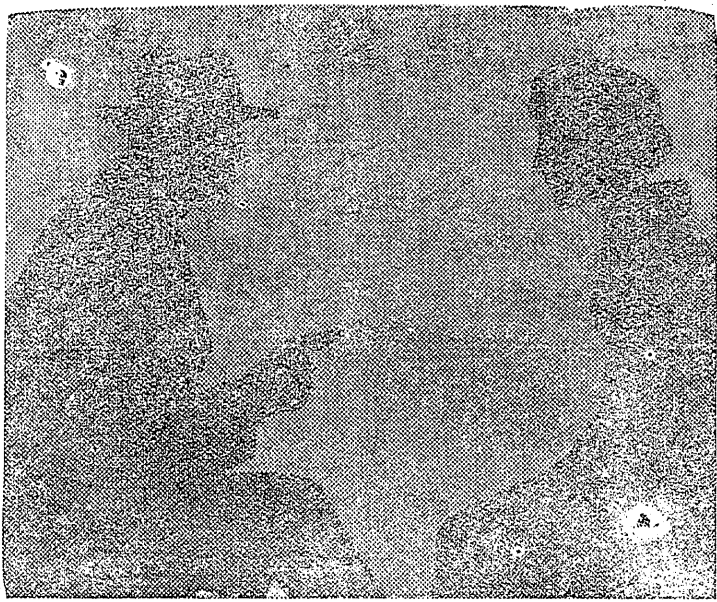


【載轉禁】

渡邊默禪作
布施平八郎畫

破綻 (1)

『奥さん、まあ然う逃げ腰にならずに少し落着いて私の話をお聞下さいませんか成程お怒りになるのも、そりや無理はないです、偽名を使つてお手紙を差上げて此處までお出を煩はしたんですからね、つまり貴女を一種のペテンにかけたやうなものです、いえ不徳ですとも不都合ですとも、それでお叱をうけなかつたら不思議ですが、奥さん、お考へ下さい、不徳だ不都合だと承知しながら、そんな腹手紙でも書いて上げなかつたら、貴女のお顔を見ることすらできないほどに私は貴女に嫌はれてゐるんです心から貴女を愛して、敬つて、そして命懸けの戀をしてゐる外には何の野心もなく意も持つてゐない私がどういふものか仇のやうにあく魔のやうに貴女に嫌はれてゐる、そして一人で死ぬほど煩悶してゐるといふことをお認めになつて、あゝ可哀想な奴だ、氣の毒な男だと憐んで下すつたら、これしきのことは赦してやつてもよいと思召んでせう、いや、赦して戴ける筈です、ね、奥さん赦して下さいさ』



く路を一筋隔て、長い葎がすい／＼と幾つた汀に近い砂丘かげで聲高に争つてゐる申女があつた、れもんを殺いだやうな青い七日の月が微かに西の空にかゝつてその黒い輪廓だけをちやぶ／＼と動いてゐる、波際に見せてゐる、それが郁子と高野熊吉とであつた。
『用事ですか、是からそく／＼お話し申します、奥さん貴女はこの男を御承知でせうね、これは何處の何といふ者ですか、先づそれから承はりたいものです』
高野は衣袋からカード形
『いやにまほりくどい事をいふのね、勘辨して下さいなら下さいと何故手短に分りよく言はないのさ、くだらないことに節をつけて愛だの戀だの氣障を列べる必要はないわ』
『此寫眞の直中に立つてゐるハイカラずくめの好男子は、先刻差上げた紙の名前は、北川信太郎といふ男でせう、違ひますか奥さん』
皮肉な微笑に目を輝かして囁るやうに言つた、でも郁子は猶黙つてゐた。

心強くと峻拒した。

『は、ア、氣障ですか』
『一体何の用事？腹手紙でこんなところへ誘き出してほんとに失敬だよ、お前は……さア、早く話して頂戴その用事を聞かせせう』
磯子の海岸……一方が鳥帽子山の崖になつた杉田へゆ

の寫眞を出して郁子の眼の先に突きつけて置いて片手に懐中電燈をばつと發光させた。その明りのなかにくつきりと浮いた郁子の白い顔から鈴のやうな眼が輝いた。
『あら……』
愕然とした子で突いと

内小兒科・花柳病科
藤沼醫院
入院應需

平南町紺屋
電話五〇七番

上田外科醫院

平南町
電話二一九番

大塚の
學生靴!!!

耐久新製品
編上靴 六・〇〇
半靴 五・〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚支店製靴部
電話七七番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町 (電話一七〇番)

大和田醫院

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平南町二丁目(電話三)

吉田眼科病院
平南町、電話六八番

お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ
煎茶四十目 入 十錢より 五十錢まで
ほうじ茶四十目袋入 十五錢 二十錢

香味のよい家庭徳用別焙



印刷物の御用命は總て
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

井の
商品切手

平南町 電話三八四番